

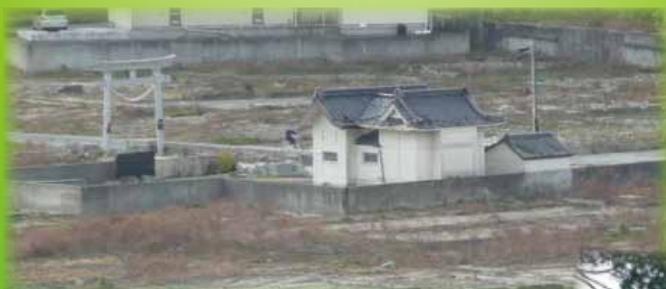
NPO法人 社叢学会

※「社叢^{しゃそう}」とは鎮守の森など地域に古くから残っている信仰を集める森林のことです。

活動期間：平成25年10月10日～平成26年3月11日

活動場所：東日本大震災被災地域

社叢調査結果を活用して街路緑化をはじめ、広場や神社周辺地などでの緑化計画を検討し、地域の風景の再生・復興につながる緑のまちづくり支援活動を行いました。



鳥居と社殿の一部を残して
流失した大杉神社



高台に創建された新社殿

被災地では3年以上が過ぎても、復興未だしの観があります。土木工事が進んでいく中で、新しい街を支える地域コミュニティも少しずつ再生に向かいつつあります。そこで大きな役割を果たしているのが神社の伝統の祭りです。祭りで地域の紐帯を再確認し、その熱気を地域再生に結びつけるという循環ができていて、その核には社叢がなければならないと実感しました。